

2020 年 3 月 9 日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

「ひふみワールド+」の 基準価額下落について
(3 月 9 日基準価額：8,741 円 前日比-467 円、下落率 -5.07%)

いつもひふみワールド+をご愛顧いただきありがとうございます。

本日のひふみワールド+の基準価額が前日比-467 円 (-5.07%) と大きく下落し、お客様にはご心配をおかけしております。

新型コロナウイルスが存在することを中国が認めてからおよそ 2 ヶ月、新規感染者数は中国では 2 月中旬をピークに沈静化しつつある一方で、半月ほどのタイムラグを経て米国および欧州で急速に拡大しつつあり、3 月 8 日、イタリアは北部など 14 県を 4 月 3 日まで封鎖しました。米国は、イラン、中国に対し入国制限を課しているほか、韓国、日本、イタリアからの入国者に対しても入国に関して注視しています。

米 FRB (連邦準備理事会) は 3 月 4 日、FF レート (フェデラルファンドレート：短期金利の誘導目標) を 1.50%~1.75% から 1.00%~1.25% へと 0.5% の緊急利下げを行い、新型コロナウイルスによる米国経済への影響を緩和する金融措置を取りましたが、今のところ市場は下げ止まる気配が薄い状況です。さらに為替市場では、株式から債券へ資金が大量に流れたことによる金利急低下、FRB による更なる短期金利の低目誘導の可能性、リスクオフの待機通貨として安全資産の一つ円へ資金が流れ込んだ結果、急激な円高が進行、また、企業資金調達に不透明感が広がったアジア市場もパニック売りとなりました。

そのような中、ひふみワールド+の基準価額は、保有株式の株価の下落、急激な円高進行から先週末と比較し 5.07% 下落し、8,741 円となりました。

ひふみワールド+は、米国企業の成長性が最も高いと考え、米国中心のポートフォリオになっています。しかし、一本調子に上昇し、バリュエーション拡大を続ける米国市場に懸念があったため、昨年 12 月から買いスタンスを抑制し、慎重な運用に臨んでいました。

そこへ、新型コロナウイルス感染が拡大し、欧米各国まで伝播し始めたことから、お客様からご入金いただく現金はそのまま保有し、ポートフォリオの中身を少しずつ調整する戦略をとっています。

今回の新型コロナウイルスの世界経済への影響は過去の大きな調整とは違います。IT バブル時、SARS、リーマンショック、東日本大震災時など過去の暴落と比較し、参考になるところ、ならないところそれぞれあります。

共通して言えるのは事象発現後 100 日程度、上下はあるものの下落が続けるところです。ただ、これは市場全体の動向を示す指標や指数であるインデックスでの現象なので個別銘柄全てに当てはまることではありませんが、100 日後にあたる 7 月中旬までの時間をかけてその後の世界経済を想像したポートフォリオ構築ができると考え、慎重に運用してまいります。



わたしたちは10名のアナリストと1名のストラテジスト、合わせて11名の運用本部チームが一丸となり、引続き、冷静に調査、投資・運用をしています。

過去例で参考になることは、どの局面でも人々は立ち上がり、また前を見て歩みを始めることです。株式市場の調整の始まりは、それまでの急速な経済膨張であったり、システミックリスク（金融決済システムの不調）の発現であったり、時の政権によるいくつかの失政や天災であるところに、ウイルス感染、パンデミックが明確に不確定要素として加わったことを認識する必要があります。新型コロナウイルスもいずれインフルエンザのような流行性感冒の一つとなり、治療薬もできるのかもしれませんが。そのときにはまた新たなウイルスの発生もあることを認識すると同時に、インフルエンザ対応のようなさまざまな対応策を世界各国で考えていかなければなりません。

今後も調査、投資・運用を真摯に続け、ポートフォリオの中身を少しずつ変えながら、現在保有する現金（3月9日時点でポートフォリオの約26%）を有効に使い、将来の基準価額上昇に寄与となるよう努めてまいります。

なお、このような緊急レポートは、当該投資信託の基準価額が前日比で5.0%以上下落した場合にご報告することとなっております。前回2月25日時点ではそこまでの下落とはなっていませんでしたが、上記のとおりわたしたちの考え、行動をみなさまにお伝えすることでご心配、ご不安のお気持ちに少しでも寄り添えればと思ひ発行いたしました。

今後もひふみワールド+を長期目線で見えていただき、わたしたちのセミナー等でお会いできるのを楽しみにしています。

レオス・キャピタルワークス株式会社
取締役運用本部長
ひふみワールド+運用責任者
湯浅 光裕

「ひふみワールド+」に係るリスクについて

「ひふみワールド+」は、海外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみワールド+」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：申込金額に対する手数料率は 3.30% (税抜 3.00%) を上限として、販売会社が定める料率とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次の通りです。

信託報酬	信託財産の純資産総額 5000 億円まで：年率 1.6280% (税抜 1.4800%) 信託財産の純資産総額 5000 億円を超える部分：年率 1.5180% (税抜 1.3800%) 信託財産の純資産総額 1 兆円を超える部分：年率 1.3530% (税抜 1.2300%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率 0.0055% (税抜 0.005%) (なお、上限を年間 99 万円 (税抜 90 万円) とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税)先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

- ・ 本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家のみなさまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・ 本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。